

## 新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申しあげます。

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申しあげます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また医療の進歩に寄与するべく絶えず検査領域の拡大に努めていますが、このたび、下記項目の検査受託を開始することになりました。

取り急ぎご案内させていただきますので、ご利用のほど宜しくお願ひ申しあげます。

敬具

記

### 新規受託項目

- 結核菌特異的インターフェロン-γ産生能 (T-S P O T. TB) 項目コード : 7527
- 結核菌特異的インターフェロン-γ産生能 (Q F T) 項目コード : 7521

### 受託開始日

平成26年10月1日（水）受付分より新規受託開始

※ 受託要項等の詳細は、裏面をご参照ください。

### 【ご依頼時の注意事項】

本検査は、採血から検査開始までに時間の制限があり、また、温度管理が重要となります。

つきましては、

- 1) 採血前に担当営業所にご連絡ください。
- 2) 受託可能日は、月～金曜日となります（休日の前日は受託不可）。尚、検体は採血後、当日中にご提出ください。
- 3) 検体はご提出までの間、受託要項に記す温度で保存願います。

### 保健科学グループ



株式会社 保健科学研究所

本 社／	横浜市保土ヶ谷区神戸町 106	TEL 045-333-1661	新潟臨床検査センター	遠州予防医学研究所
仙台支社／	仙台市宮城野区扇町 1-1-6	TEL 022-236-9345	保健科学東日本	日本厚生団衛生科学研究所
中部支社／	名古屋市西区則武新町 2-20-17	TEL 052-582-3201	日本ノーバメディカル研究所	湘南医化学検査センター
大阪支社／	豊中市原田中 1-2-3	TEL 06-6843-5622	いかがく	小田原衛検
福岡支社／	福岡市博多区山王 2-14-34	TEL 092-452-0851	組織科学研究所	相模医研
			ケーアイエー細胞病理研究所	東部メディカルセンター
			カスタムメディカル研究所	

## 新規受託項目

項目コード	検査項目	検体必要量	容器保存方法	検査方法	基準値	所要日数	実施料判断料	備考
7527	曜日指定 予約検査 結核菌特異的インターフェロン-γ産生能(T-SPOT. TB)	全血 6.0 ※1	F-6 常温 (18~25°C) (32時間以内)	ELISPOT法	(-)	3~5	630 免疫 ※3	冷蔵・凍結不可・開封厳禁 予約検査・休日の前日は受付できません。 検体は採取後、当日中にご提出下さい。 他項目との重複しないよう単独検体で提出してください。 ※4 *ア
7521	曜日指定 予約検査 結核菌特異的インターフェロン-γ産生能(QFT)	全血 ※2	QF 常温 (17~27°C) (16時間以内)	ELISA法	(-)	3~7	630 免疫 ※3	冷蔵・凍結不可 予約検査・休日の前日は受付できません。 検体は採取後、当日中にご提出下さい。 ※4 *ア

検査場所：保健科学研究所 第2ラボラトリー(略号：\*ア)

※1 6.0mLに満たない場合でも検査実施可能です。下記を参照願います。

※2 3種類×各1本(1.0mL)の提出となります。次ページを参照願います。

※3 診察又は画像診断等により結核感染が強く疑われる患者を対象として測定した場合のみ算定できる。

※4 依頼に際しては、「採血時間」を依頼書にご記入の上、ご依頼ください。

### ▼ T-SPOT. TBの検体必要量について

成人或いは10歳以上の子ども	6mL以上
2~9歳の小児	4mL以上
2歳未満の乳幼児	2mL以上

検査に充分な末梢血单核球が得られない場合には検査不能等になる場合があります。

### ▼ 結核菌特異的インターフェロン-γ産生能の報告形式について

(表1) T-SPOT. TBの報告形式

項目コード	項目名称	報告形式
依頼コード	7527 T-SPOT. TB	<del>(+), (-), 判定保留, 判定不可</del>
報告コード	7528 判定	(+), (-), 判定保留, 判定不可
	7529 パネルA(ESAT-6)	スポット数:整数 (スポット)
	7530 パネルB(CFP-10)	スポット数:整数 (スポット)

(表2) QFTの報告形式

項目コード	項目名称	報告形式
依頼コード	7521 QFT	<del>(+), (-), 判定保留, 判定不可</del>
報告コード	7522 判定	(+), (-), 判定保留, 判定不可
	7523 測定値A	測定値:有効数字3桁 (IU/mL)
	7524 測定値M	測定値:有効数字3桁 (IU/mL)
	7525 陰性コントロール	測定値:有効数字3桁 (IU/mL)

## ▼ 結核菌特異的インターフェロン- $\gamma$ 産生能の判定基準

(表3) T-SPOT. TBの判定基準

判定基準
パネルA(ESAT-6)とパネルB(CFP-10)のスポット数
(+) : 両方又は一方が8以上 判定保留: 両方又は一方の最大値が5~7 (-) : 両方が4以下

(表4) QFTの判定基準

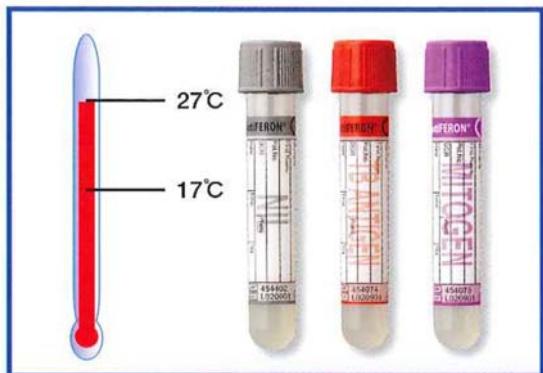
判定	測定値A (IU/mL)	測定値M (IU/mL)	解釈
(+)	0.35以上	不問	結核感染を疑う
判定保留	0.10以上 0.35未満	0.50以上	感染リスクを考慮して、総合的に判断する。
(-)	0.10未満		結核感染していない
判定不可	0.35未満	0.50未満	免疫不全等が考えられるので、判定を行わない

※ 判定保留、判定不可の場合には、再度、採血して再提出することを推奨いたします。

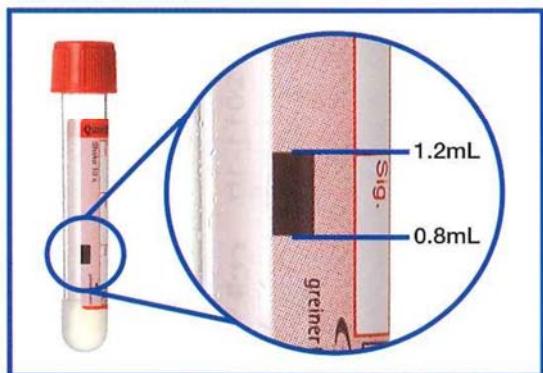
## ▼ QFT用専用容器

QF QFT用採血管		
灰色 陰性コントロール	赤色 TB抗原	紫色 陽性コントロール
<b>添加剤・内容物</b> ヘパリンリチウム(赤色:TB抗原、紫色:PHA) <b>採血量</b> 1.0mL <b>貯蔵方法</b> 冷蔵推奨 <b>有効期限</b> 15ヶ月 <b>検査項目</b> 結核菌特異的インターフェロン- $\gamma$ 産生能(QFT) <b>備考</b> 検体の採取方法は4ページ参照		

## 結核菌特異的インターフェロン- $\gamma$ 產生能(QFT)の採血方法

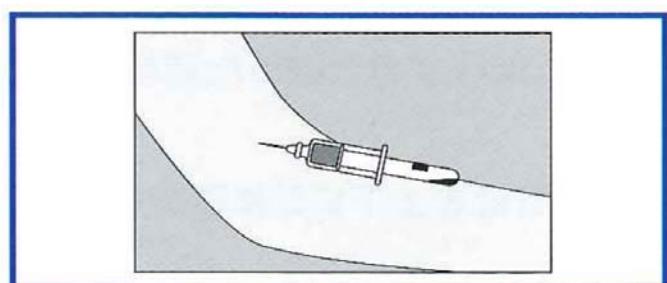


- 採血管は4~25°Cで保存すること。
- 被検者1人(1検体)に3種類の採血管(灰色、赤色、紫色)を使用。
- 採血管は室内温度(22±5°C)になってから使用する。
- 採血前に採血管のゲル部分を手で握るなどして温めないこと。

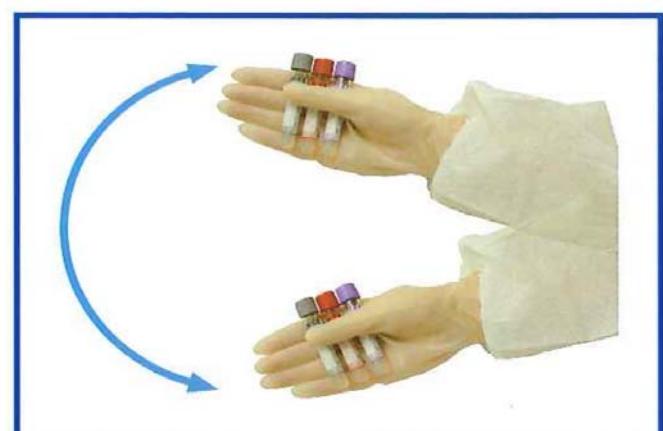


- 各採血管に規定量(1mL)を採血する。  
(採血は特定の順序で行う必要はないが、通常は陰性コントロール、TB抗原、陽性コントロール採血管の順序で行う。)
- 規定量の血液が採血されたことを確認する(採血量が0.8~1.2mLの範囲であれば、検査結果に影響はないが、この範囲を外れた場合は、再採血すること)。

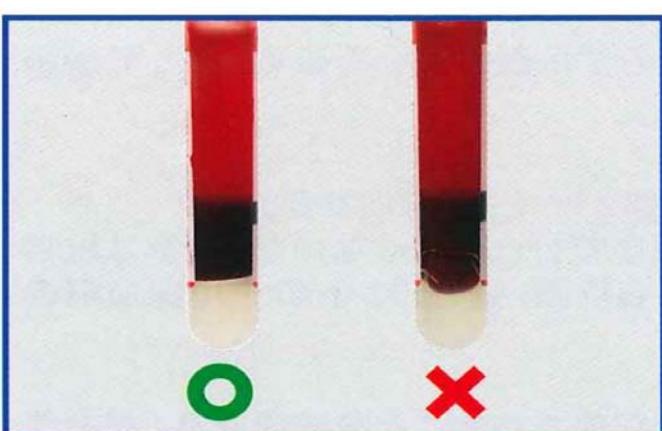
### 【採血方法】



- ①採血管に真空採血管用ホルダーから直接採取する。



- ②採血後、採血管を上下に5秒間又は10回振つて混合する。



- ③採血管の内表面全体が血液で覆われていることを確認する。

- ④強く振りすぎると分離剤の成分が血液と混ざり、誤った結果になることがある。

- 採血後の血液検体は、出来るだけ早く(採血後16時間以内に)37°Cのインキュベーターに入れなければならない。
- 培養前の採血管は、22±5°Cに保存する。これ以外の温度で保存すると誤った結果になることがある。血液検体は冷蔵又は冷凍してはならない。
- 採血後、血液をすぐに培養できない時は、培養直前に再度採血管を上下に5秒間又は10回振ること。